

紅葉の見どころスポット

10月下旬から11月上旬



■大山 (大山町～伯耆町～江府町)
 なんとといっても、西日本を代表する紅葉の名所。大山寺付近では、豪円山、寂静山、金門、川床付近など、大山の豪快な北壁を背景にブナ林の紅葉を楽しめます。また二の沢、三の沢、そして鍵掛峠からさらに、大山の南側に連なる烏ヶ山の紅葉も見事!その雄大な裾野が「錦に染まる」様はまさに絶景!!西日本では他に例を見ない「ブナの紅葉トンネル」のドライブや、烏ヶ山の麓、鏡ヶ成高原では紅葉ハイキングも楽しめます。



■船上山 (琴浦町) 10月下旬から11月上旬
 大山の東に連なる独特な容をした歴史の山。楓、ブナ、コナラ等の色鮮やかで見事な紅葉が楽しめます。山頂までの登山コースはハイキングに最適。



■清水寺 (安来市) 11月上旬から中旬
 杉林の静寂の中にそびえる三重の塔や、石舞台に堂々とした姿を見せる国指定重文の清水寺根本堂をもみじが包み込むように赤く染め、絶妙のコントラストを見せる安来、清水寺。(入山・境内参拝は無料) 銀杏の黄色い葉と赤い花で境内全体が独特な雰囲気醸し出します。境内のお宿で紅葉を見ながらの精進料理も格別です。

米子まちなおしフォーラム

10/22(土)～23(日)

歯止めがかからない中心市街地の衰退、空洞化と高齢化。地方都市が抱えるこの共通課題の解決方法を見出すために、米子の笑い通り周辺で取り組まれている「田園プロジェクト」を実例として、さまざまな見地から論じ合います。人が安心して暮らせる街にと「福祉」を導入し、そのためにまた「商業」も役立つことで、街ににぎわいをとりもどそうという、全国からも注目されている「田園プロジェクト」。市民の皆さんも多数で参加下さい。

●問い合わせ/米子まちなおしフォーラム実行委員会
 TEL/0859-37-6611
 (地域交流センター田園)

新譜・新刊情報

資料提供/今井書店グループ 本の学校

■遊吟

「君が僕を愛してくれたから」

1,000円

追っかけがつかぬ歌手として既にならした。松江駅前路上ライブをしている歌い込み系兄弟アコギデュオ遊吟のファーストシングルは、松江スタジオワンダーでの累計販売数量***枚と、さりげなくレミオオメンとかスキップスイッチを超えているところに今更ビックリ。6月に行われたインスタライブでは出演待ちの女の子で店が埋めつくされ大変なことになったが、男が聴いても全然オッケー。たまに親戚が参加して3ピースになったりする。



■池谷裕二・糸井重里

「海馬 脳は疲れない」

新潮社

脳のしくみの本や脳を活性化させるドリルなどが多数出版され、よく売れている「脳」に対する興味というよりはむしろ、不安や恐怖がなんともなく中高年に充満しているように思える。認知症予防にドリルに高じるのも良いが、その前に「脳」のことをもう少し勉強したほうが健全だろう。若手脳研究者である池谷氏の新鮮な脳科学の知識と、それをより具体的な生活の場まで引っ張る糸井氏の対談を読めば、不安は必ず解消されるはずである。



取材・編集・制作 スタッフ募集!

エリア内の交流を促進し、地域を元気にしていくために隔月で発行するイベント情報紙「see!」。サポートスタッフとして、その制作にご協力頂ける方を募集しています。

see! 大山中海エリア イベント情報誌

発行/大山王国 大山山麓観光推進協議会
 NPO大山中海観光推進機構

大山王国ホームページ <http://www.daisenking.net/>

■企画編集/NPO大山中海観光推進機構

see!専用アドレス/see@daisenking.net

〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎6-2-28

TEL 0859-24-0681 FAX 0859-24-0682

●本紙に掲載しているイベントの写真は昨年、一昨年に撮影されたものです。

■制作スタッフ

今出和史・入江勝浩・石村隆男・すぎはらみきを

■制作

(有)地域未来

●印刷協力/今井印刷株式会社

●製本協力/日宝製本米子工場



自伝・記念誌・・・あなただけの一冊を!

今井印刷株式会社

PRINTING & COMMUNICATION

鳥取県米子市富益町米川西8番 TEL.0859-28-5551
 FAX.0859-48-2058 E-mail: imaibp@imaibp.co.jp

ご覧になりましたか?! 話題のオマージュ展

(植田正治写真美術館で～10月16日まで開催)

●植田正治写真美術館の開館10周年を記念しての特別企画展、「HOMAGE—植田正治に捧ぐ—」。ミュージシャン、俳優として活躍中の福山雅治氏。ファッションデザイナーの菊池武夫氏。雑誌「アンアン」などのアートディレクター、堀内誠一氏(故人)。植田氏の作品と人柄に魅かれたこの三氏と繰り広げられた様々なセッションを通して、植田氏の作品がどのような展開を見せたのか、アートやファッションに興味のある方には絶対に見逃せない内容です。

●今回は写真の展示ももちろんですが、開館10周年にあわせて制作されたオルゴールが特に話題!!これは福山さんと菊池さんのコラボレーションで制作されたもので、シンプルでおしゃれなボックスからは優しいメロディーが。これは福山さんが植田正治氏の星にささげた曲、「UEDASHOJI17748」。



●オルゴールは植田正治写真美術館だけの限定販売品であり、大変多くのファンが全国から訪れています。8月21日に放送されたこの写真展に光をあてた『情熱大陸(TBS系)』の反響が凄く、9月、10月はさらに賑わいそうな気配です。まだ、出かけてない方は是非!!今年一番の話題&おすすめ企画です。



国内最大規模のまなびの祭典

第17回全国生涯学習フェスティバルがやってくる!

10月9日(日)～15日(土)

鳥取県内全域で開催

「まなびピア」は、生涯学習を実践している方々が、日頃の学習成果を発表しあうと共に、各種団体や企業などの協力により、各会場で様々な「まなび」が体験できる場を提供し、自ら学ぶことの楽しさや大切さを感じていただく参加体験型のイベントです。西部地区では、テレビでおなじみ「でんじろう先生のサイエンスショー」(会場/米子市文化ホール)、西部地区の全市町村が参加して行う「地区実行委員会主催事業」(会場/米子市文化ホール)、森田健作さんなど著名人の講演会など、紹介しきれないほどの多彩なイベントが。最終日(15日)の総合閉会式(会場/米子コンベンションセンター)、会場周辺では、県民をあげて協働で制作する「グランドフィナーレ」



が行われます。かいな太鼓の力強い音でスタートし、盆踊りや合唱がおりなすステージ。テントでは体験コーナー・物品販売も行われ「市民参加のお祭り」で、まなびピアを締めくくります。またその運営を支える、毎日100人以上のボランティアの活躍にも注目です。さあ、魅力満載のまなびピアヘレッツゴー!!

●問い合わせ/第17回全国生涯学習フェスティバル実行委員会事務局
 TEL/0857-26-7943・7944

●URL/<http://www.pref.tottori.jp/kyouiku/shougai/manabipia2005/manabipia.htm>